

お誕生おめでとう

赤ちゃん	性別	出生月日	父	母	地区
井本みのり	女	10.3	憲仁	恵子	㊦太郎丸
桑原 聡大	男	10.3	孝尚	あゆ美	㊦新田
島崎侑芽斗	男	10.4	翔	史香	㊦秦山町1
西岡 侑真	男	10.4	孝洋	由季	㊦西本町1
林 永翔	男	10.5	祐太	玲奈	㊦東本町2
松本 心	女	10.28	哲卓	和美	㊦栄町
濱田 旭希	男	10.29	誠司	幸	㊦岩次

※おわびと訂正…11月号の『お誕生おめでとう』で、森本悠介さんのお名前を、誤って「森田悠介」と記載していました。おわびして訂正します。

木材市況

11月8日第279回市(物部)
10月28日第40回市(香美)

材長	樹種 径級	スギ(円/m ³)		ヒノキ(円/m ³)	
		直・小曲	曲	直・小曲	曲
4m	12cm下	9,000	8,000	12,000	10,000
	13cm~14cm	9,000		13,500	
	15cm~16cm	11,000	9,000	18,000	13,000
	18cm~22cm	14,500	12,000	17,000	15,000
3m	24cm~28cm	12,500	11,500	16,500	14,500
	12cm下	8,000	7,000	12,000	8,000
	13cm~14cm	8,000		11,000	
	15cm~16cm	14,500	9,500	18,000	14,500
2m	18cm~22cm	14,500	12,500	16,500	14,500
	24cm~28cm	14,500	12,000	15,000	14,500
6m	24cm上	8,500	8,000	8,000	8,000
6m	18cm~22cm	18,000	16,000	24,000	21,000

物部市況
 入荷量は徐々に増加し、スギ、ヒノキともに小径木から元類まで強保合。木材の平均単価は、スギ11,300円/m³、ヒノキ13,800円/m³。
 入荷量は回復傾向です。スギ30cmまでの直・曲は3mが有利。ヒノキは3m・4mとも直材になるよう、曲がりが入る場合は4mでの造材をお願いします。
 営業時間 月曜日～土曜日 8時～17時(祝祭日休み)

なお、上記の単価は1m³あたりの平均単価です。
【問い合わせ先】
 物部森林組合ストックヤード
 (物部町中谷川314) ☎57-3540
 香美森林組合国見支所/繁藤ストックヤード
 (土佐山田町繁藤140-7) ☎57-9114

ご冥福をお祈りします

お名前	性別	亡月日	享年	地区
門脇 次子	女	10.2	72	㊦神通寺
門田 一雄	男	10.3	80	㊦新田
依光 淑暁	男	10.3	80	㊦中野
小原 仁実	女	10.4	39	㊦太郎丸
田原 裕康	男	10.6	67	㊦百石町1
岡本 光子	女	10.6	80	㊦神母ノ木
山崎 榮喜	女	10.6	91	㊦高尾
出原 清秀	男	10.7	83	㊦百石町2
依光喜美代	女	10.8	79	㊦中村2
前田 正	男	10.10	82	㊦旭町2
坂本 善英	男	10.10	83	㊦影仙頭
山中 正子	女	10.11	98	㊦蕪生野
中内 國男	男	10.12	83	㊦神母ノ木
坂本 美里	女	10.13	85	㊦永野
宮田喜久美	女	10.14	70	㊦神母ノ木
野町 公明	男	10.16	78	㊦北組西
水田 穰通	男	10.17	75	㊦佐野
刈谷 秀子	女	10.17	86	㊦秦山町1
郡 安一	男	10.17	90	㊦東本町5
千頭 将男	男	10.19	89	㊦新田
山本 利雄	男	10.21	86	㊦入野
山下 俊一	男	10.22	72	㊦宝町2
恒石 青樹	女	10.22	85	㊦蕪生野
耕崎満喜子	女	10.23	102	㊦談西
門田 登代	女	10.24	89	㊦予岳
比与森初喜	女	10.26	69	㊦宝町3
北村 一視	男	10.26	84	㊦原東
川田千恵子	女	10.27	77	㊦下野尻
舩谷佳代子	女	10.28	64	㊦船谷
岩崎 房江	女	10.29	86	㊦神母ノ木
西内 慶隆	男	10.30	73	㊦神通寺
中村 梅子	女	10.30	95	㊦佐古藪
石川 幸榮	女	10.31	90	㊦前山
森本シゲノ	女	10.31	98	㊦猪野々

※地区名の㊦は土佐山田町、㊦は香北町、㊦は物部町です。
 ※ご家族の同意をいただいた方のみ掲載しています。

市の人口

平成28年11月1日現在

総人口	26,671人	男	12,464人	女	14,207人
前月比	-28人		-13人		-15人
山田	20,083人	香北	4,638人	物部	1,950人
前月比	-28人		+3人		-3人
世帯数	12,945世帯	転入	33世帯	10月 出生	11人
前月比	-9世帯	転出	30世帯	届出 死亡	45人

風の流

一般投稿作品

血気盛んり才の五輪に勇もらふ
 澄み渡るダム湖を走り秋の雲
 遠き日を想い出させる彼岸花
 猪の害逃れ新米豊作に
 振り向かぬ路傍の草も花が咲く
 稲を抜き稲架木残りし日暮れ時
 焙り茶の香れる厨秋深む
 玄鳥去り寂しき庭に虫の声
 居ずまいをきりりと正し初暦
 秋霖に肅と透析小半日
 脳鍛う指折りすれば十二月
 秋一日書家の掛軸称へけり
 書かざりし日は未知のごと日記古る
 白壁を無尽に這ふて蕪紅葉
 どの家も柚子風呂湧かす峡の里
 秋めくや両手合せて写経書く

美良布俳句会

豊の秋古米となりし袋撫つ
 香の立ちて厨明るし新生姜
 廃線の駅に案山子のバスを待つ
 父親となりし子遠き青蜜柑
 秋高し刃物研ぎ屋に長い列
 伸ばず手を避けてこぼるる霰余子かな

藤袴羽破れたる渡り蝶
 海坂を渡ろうと蝶藤袴
 かがみ野俳句会
 月今宵思ひのままを琴にのせ
 友の愚痴聞くふりをし葡萄食ぶ
 釣瓶落としあと一畝へ星光る
 秋桜女心の揺れにゆれ
 迷ひ子を捜す火種の曼珠沙華
 人力車にすり寄る鹿や初紅葉

かほく俳句会

新葉を抱へて来る氏子かな
 あるがまま生き来し道の涼しかり
 ちぎり絵の通草の色の食そそる
 梨不作傷梨小梨並べ売る
 草の花廃屋増へし梅ノ久保
 作柄はやや良しと言ふ神の留守
 東京の都知事の確と菊日和
 住み古りしいざなぎの里秋の声
 敬老の夫に勧める赤ワイン
 稲刈つてその日の夜の青臭し
 村疲弊絡む貧乏かざらかな
 落葉掃く事より今日の始まりぬ
 芙蓉や吹かれお出かけ日和かな
 柚子は黄にたつきの望み見えだしぬ
 銘柄を知り尽したる稲雀
 芋虫のあふれる命つまみけり
 風が過ぐ森の隙間へ秋の声
 古里の花野は消えて猿の声
 ひと雨に上着をはおる初秋かな

三木 牧子
 五百蔵利美
 有澤 春江
 岡田美代子
 岡本 初美
 楮佐古きよ
 上池 児未
 都築 忠義
 中村 紫乃
 福留もりのり
 三谷 誠郎
 森岡 秀野
 森本 純喜
 森本 幸美
 山崎 貴子
 山崎 寿美
 岡本かほる
 明石ゆきえ
 北村 幸子
 北村 里子
 小野川順子
 前田 芳子

結ぶとき音の聞こゆる真夜の露
 遠く住む友の近況知る夜長
 山中 瑞輝
 山中 明石

土佐山田町俳句会

「うたてえ」と曾孫亡くせし炭焼夫
 校長の顔して案山子農学校
 肌寒やこの頃多き独り言
 心音はとんととんとと芒原
 月白の瀬音の宙へ祓う幣
 ここよりは老人の村山ぶどう
 週一の体操教室案山子めく
 秋雨や気分一新髪を切る
 なで肩のあれば親父か葡萄もぐ
 野の石に腰を下ろせば鳥渡る

今月のキラリ

焙り茶の香れる厨秋深む
 焙り茶。自家製の茶葉をその都度炒つてやかに汲む。そんな夕餉のひとときである。晩秋を迎え、家族の一年の平穩を思うのであろう。

俳句・短歌の投稿方法

▼投稿方法は自由。住所、氏名、電話番号を明記してください。
 ▼俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載月の前月の1日までに投稿してください。
 ▼誌面の都合により掲載されない場合があります。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。
【投稿先】 総務課内広報委員会事務局(俳句・短歌係)
 〒782-18501(住所記載不要) FAX 53・5958